

第164回講演会

新型コロナ：パンデミックの 七不思議・七変化を振り返ろう

2020/6/20

新型コロナ：パンデミックの七不思議・七変化

◆ 七不思議・七変化について

- ブレインストーミングで、感じたことをどんどん出しあいましょう。
- その内容を説明しあって、上位7件を選択し、ランキングしましょう。

◆ 七不思議

- なぜ日本は感染者数が少なかったのか
- なぜマスクが流通しないのか
- …

◆ 七変化

- 観光業は復活できるか
- オリンピックは開かれるか
- …

参加者から出てきた七不思議・七変化を次ページに示します。

その中で、参加者が注目したものを、
司会者の方でワンポイントコメントを付けて示します。

「七不思議」で注目された指摘

◆ 1:なぜ日本は感染者数が少なかったのか

- 当初は日本の清潔習慣が賞賛されたが、今ではアジア系人種は少なく(タイ、ベトナム他)、そのアジア系では日本は多い方とされている。

◆ 2:PCR検査が少ない

- 保健所等の行政機構の運用手順がネックとか、医療崩壊を防ぐために自制したとか、色々な説明があるが、実態は不明。

◆ 3:アメリカ、ブラジル、インドは多い

- 人種的に欧米の感染者が多い結果になっているが、その中でも貧困層で感染者の急増が心配されている。

◆ 4:スピード感がない

- 上記項目は統計的・科学的に説明が付きつつあるが、これだけは全く説明がない状態。
- その中で、台湾、ニュージーランド、ドイツなどの行政府トップや、ニューヨーク州知事などの活躍が注目されている。

◆ 5:WHOの中国よりで広がった

- WHO事務局長の村度発言だけでなく、中国の武漢感染情報の隠ぺいとかが問題にされているが、政治問題となり説明はされていない。

結果として、上3件は統計的データが解明されつつあるが、
下2件の政治的要因は当分解明されそうにない。

「七不思議」で出されたその他の指摘

- ◆ なぜマスクが流通しないのか
- ◆ 日本はなぜ中国の入国禁止が遅れたか
- ◆ PCRで保健所の対応体制が不備
- ◆ メーカーは検査設備の増設は可能だが、国の方針に反することはできない
- ◆ フランスは日本の設備を輸入したが、日本は未認可
- ◆ 日本は機器の認可プロセスが長すぎる
- ◆ CDC等をまとめる組織がない。統一見解・方針をだすべき
- ◆ 北朝鮮の発表がない
- ◆ テレワークが急速に普及
- ◆ 大学を止めるべきでない

「七変化」で注目された指摘

◆ 1:テレワークが定着する

- 今回の感染対策でテレワークの効用が認識され、感染が終息してもテレワークは定着しそう。そうすると首都圏集中も緩和されるかが注目される。

◆ 2:ハンコがなくなる

- 今までテレワークが進まなかったのは、各種稟議資料の承認プロセスではないか、そのため今後テレワークが定着すると、ハンコはなくなると期待されている。

◆ 3:教育のオンライン化が進む(第2波対策):緊急時の役に立つ

- 今は経済維持のために、感染者が増加しても学校閉鎖・休業の雰囲気にはない。しかし、第2波が来ると学校のオンライン化が進まざるを得ないのではないか。

◆ 4:中間管理職がテレワークでなくなる

- 書類決済で色々な階層の管理職がハンコを押していたが、ハンコがなくなると、そういう管理職は不要になる。これらの管理職は終身雇用と年功序列で生まれた人たちとすると、これらの中間管理職は淘汰されるかもしれない。

◆ 5:サプライチェーンをすべて海外に頼るのはよくない

- マスクや医療機器不足を機会に、安全に係わる製品の自給が今後進むかも知れない。

結果として5件中3件がテレワーク関係で、
そのインパクトの影響範囲が注目される。

「七変化」で出されたその他の指摘

- ◆ 観光業は復活できるか
- ◆ オリンピックは開かれるか やめた方がよい
- ◆ テレワークで気分転換が変わるか。オンラインだけではない
- ◆ 集まらないでもできる楽しみが増えるだろう
- ◆ 東京一極集中がましになる
- ◆ 食事のテイクアウトが増えるか
- ◆ テレワークでは、ごますり、美人をちやほやするのははなくなる
- ◆ テレワークミーティングが増えるが
- ◆ 変化に対して受け入れやすくなる(習慣をかえてもいい)
- ◆ 時間に拘束されない会議が増える
- ◆ オンライン教育でいじめが少なくなる。学校、職場 SNSのいじめは増える
- ◆ 必需品関係で国内でしか通用しない通貨を増やす
- ◆ インド以外では、格差が拡大し暴動が増える
- ◆ 9月入学は乱暴